

学位論文内容の要旨

学位申請者	柴田（田島） 祥【論文博士】 【人間発達科学専攻 平成18年度生】 (平成25年3月31日単位修得退学)	要 旨
論文題目	オンラインゲームでの社会的相互作用が シャイネスに及ぼす影響	<p>本論文は、MMORPG (Massively Multiplayer Online Role-Playing Game : 多人数同時参加型オンライン・ロール・プレイング・ゲーム) での社会的相互作用がシャイネスに及ぼす影響を検討することを目的としている。MMORPG は、ゲームという娯楽的要素に加え、アバターを介したプレイヤー間の社会的相互作用を可能にするメディアであり、多くのプレイヤーを魅了している。初めに、MMORPG の日常的なプレイに焦点を当て、MMORPG の使用を量と質の双方からとらえた上で、シャイネスとの因果関係を 3 つの研究から検討した。また近年、インターネット上の仮想空間は心理臨床的な治療や介入の場としても活用されており、MMORPG もその効果が期待されている。そこで 4 つ目の研究として、シャイネスを改善することを目的とした MMORPG 使用の効果を検討した。</p> <p>研究 1 から 3 の結果より、MMORPG での社会的相互作用はシャイネスを低減させる効果を持つ一方で、シャイネスの高さは MMORPG での社会的相互作用を抑制する効果を持つことから、両者の関係は rich get richer 仮説を支持するものであると結論づけられた。これを踏まえ、シャイネスの低減に MMORPG を有効に活用するためには、シャイネスの高いプレイヤーにゲーム内での社会的相互作用を促す機会を設けることが必要であると考えられた。また、研究 4 において作成されたシャイネス改善プログラムは、一部有効性が認められたものの、その領域や期間は限定的なものであった。そこで、先行研究及び 4 つの研究から得られた成果を踏まえ、対象者の選定とプログラムの改良という 2 つの観点から、プログラムの改善可能性が考察された。</p>
審査委員	(主査) 教授 坂元 章	
	教授 菅原 ますみ	
	教授 大森 美香	
	准教授 上原 泉	
	教授 加賀美 常美代	